



防災士

「1時間に最大150mmの猛烈な豪雨」「土砂崩れや河川越水により市内各所で寸断された交通網」

平成16年の台風21号の甚大な被害は、10年を過ぎた今日でも鮮明に思い出される記憶ですが、この災害を教訓に西条市は防災士の養成に積極的に取り組んできました。

防災士とは、「自助、共助、協働」を原則として、社会のさまざまな場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人のことです。平常時には防災意識の啓発や自主防災活動に取り組み、災害発生時には、各地域や職場において被害の軽減に向けた活動の中核になることが求められています。

私もその一人ですが、現在西条市では837人の防災士が認証されており、これは全国的にみても、人口当たりの数で圧倒的に高い割合を誇っております。市民の皆さんの防災意識の高さには頭が下がります。

さらに注目したいのは「ぼうさいじょ」の存在です。民放主催のCM大賞特別賞を受賞し、テレビでの放映もあって、一躍存在感が高まってきたこの「ぼうさいじょ」、「防災」「西条」「女子」の頭文字をとったもので、防災士で結成している西条市防災士連絡協議会の中に所属・活動している女性たちのことです。

全国的にも、5年前の東日本大震災を契機に「女性の視点」による防災・減災対策の必要性がクローズアップされるようになりました。ぼうさいじょは、「楽しくおしゃれにポジティブに、女性も防災に取り組もう！」を合言葉に、防災頭巾や風呂敷リュック作成など、身近なことからできる防災対策の紹介や、イベントなどで防災の啓発活動を行っています。木藤部長や趙・倉田両副部長をはじめ、活発に活動いただく93人の皆さんを本当に心強く思います。

先般の市議会6月定例会では、女性30人を含め、80人の防災士養成のための予算を可決いただきました。

さらに「防災士」「ぼうさいじょ」の輪が広がり、災害に負けないまちづくりが進むことを期待しています。



▲防災の啓発活動を行う「ぼうさいじょ」

ようこそ市長室・移動市長室へ

市長が、市民の皆さんの声を直接お聞きします。皆さんのご参加をお待ちしています。

- 対象 市内各地域で活動する自治会などのグループや団体
(1グループ当たり30分から1時間程度)

- 日時・場所

- 8月26日(金) 9時～ 東予総合支所
- 8月26日(金) 13時30分～ 丹原総合支所
- 8月29日(月) 9時～ 小松総合支所
- 8月29日(月) 13時30分～ 本庁

- 参加方法 各開催日の10日前までに、本庁広報広聴課、または参加を希望される各総合支所総務課へ申し込みが必要です。各場所3団体程度を予定。申し込み多数の場合は先着順。

- 問合せ

- 市庁舎新館1階 広報広聴課
TEL0897-52-1243
- 各総合支所 総務課
- ※電話番号は15ページ上段